

『蟹作り』に就て

東京女高師助教諭 大 岩 金

小川があり池がある處に、或は芝生の彼方此方に金盞銀臺の花を見るのは優雅なものでありませう。鉢として或は水盤物として眺める時是も亦別の趣のあるものでありませう。その間には自ら異なつた趣味のある事は明なことでありまして好くある樺の太木を見る時と鉢植の樺を見る時何れも捨て難いものがありませう。その鉢植趣味といつたやうなものが向上したともいふべきものに水仙の「蟹作り」と申すものがあります。そうしてこの「蟹作り」なるものが世に紹介せられて以來疾風迅雷の勢で流行して居ります。特にお正月頃には梅の鉢植等に次いで賞讃されて居る様であります。

「蟹作り」は支那から傳はるそもくこの「蟹作り」は支那では古くから行はれてゐたものでありますが、我國では商品として店頭飾られる様になりましたのは、極最近五六年前からであるやうであります。それもまだ東京を中心としての事で大阪にも昨今では少しは作られる様になつたさうであります。まだ一般には普及してゐないやうであります。東京の花では横濱植木株式會社で最も多く作り是を諸方に卸してゐるさうであります。同社では昨年の六七百個に對し今年は千五百個といふ多數を作つて居るのであります。その製造主任の武藤氏なる人は今

を去る十五年前ニューヨークで支那人からその作り方を學んださうであります。要するに此の栽培法は支那が元祖の様に思はれます。

「蟹作り」の價格

この「蟹作り」に供します球はいづれも支那から輸入するものでありましてその主産地は福建漳州好景であります。該地からは廣く歐米各國等にも輸出する額は非常なものださうであります。我が國でも小笠原や鹿児島に栽培してゐるさうであります。が「蟹作り」には到底彼の地のものに及ばないとのことであります。

さてこれが輸送用としての荷造りは竹製の圓形の籠で一籠三十個入りとしてこの籠四個を更に一まとめとしてアンペラ包みになつて居ります。是を私共が一球づゝ求めます場合には球の大小や一塊の數などによりまして差異はありますが大體平均二十錢から四十錢位であります。是を「蟹作り」

に仕立てゝ直徑六七寸の水盤に一塊を入れたものが今月からお正月にかけては一圓五十錢位で販賣されるのであります。尙大きな鉢で數多く入れたものは其の數や形等に従つて高價になるわけであります。その價格の標準ともなるべきものは花の數でありまして平均一花十錢位が單位ださうであります。しかし花の數のみで價格の定まるものでありませんからこの事につきましては後に申すことに致しませう。そこで五六個の球で一塊をして居るものを「蟹作り」としての豫備操作をするに技術の熟練したものはよく二十分位で作りますが私共素人が致しましては四十分位を要することゝ思ひますから黒人で一日八時間勞働として約二十四個が出来ることになりましたから胸勘定をしてみても法外の高價なものでもありますまい。

「蟹作り」の豫備操作の時期

さてこの「蟹作り」の豫備操作はいつ頃からす

ればよいかと申しますに、先決問題として是を觀賞する時期をきめなければなりません。しかし只今のところでは最も需要が多く且つ珍重されますのはお正月でありますから假に年末から年始にかけて見頃なやうに作りますには、十一月中下旬から始めるのであります。しかし、日本座敷などにおきまして花の半開を見頃として好みますならば、十二月になつてからでも間にあふのであります。豫備操作即ち球を切りましてから約二週間もたちますと根は完全に出揃ひます。三週間で葉は三寸内外に花軸は二寸位に伸びましてこの頃からそろ／＼滋味のある觀賞が出來ます。この後約二週間もいたしますと、蕾は段々とはころびて雪白な花瓣に黄の副冠をそへた、鮮かな數個の花が一つの花軸に馥郁とした香をそへて、ほ／＼えむのであります。この時こそは最も華やかな時期でありませう。明るい床の間にも洋館のストープの上に

も、ふさはしいと思ひます。序にこれに用ひます水盤のことをあらまし申しますれば鉢の種類は支那鉢を第一とし他は瀬戸でもその他ありあはせのものでよいのであります。あまり深くない平鉢が適當かと思ひます。形も圓形、楕圓形等好みに應じたものでよいのであります。そして根及び球の白色な點と形の異様なのと更に花や葉の配合美を賞讃すると云ふことから鉢はなるべく支那系の白色のものがよいかと思ひます。そして鉢にふさはしい、玉石を敷きその上に彼の雪白の根のひろがり出たのは盆栽に於ける根張りとは異なつた、一種の趣きのあるものであります。又鉢の大小により單に一塊のみでなく三個、五個と鹽梅よく配置すればよりよいものが出來る理でありますし、他の花木類と寄植にしても更に岩をそへてもよいのであります。それに小川の流れ等を作り、その邊に水仙をあしらつたものなどは、さも田園の春をし

のばせて雅致あるものでありませう。

道具

そこでいよく水仙を「蟹作り」にする方法を述べやうと思ひますが先づそれに要する道具を用意せねばなりません。

即ち切り出し、竹べら、竹ぐし、鋏及び素人用として洋傘の骨の廢物を利用してこの一端を砥石の角ですりみがいたもの等を用意しておきますと便利であります。

球の切り方及び其の後の管理

皆様も御承知のことと思ひますが、水仙の葉や花は大抵球の中心に近い所から出るものでありますから是を念頭において切るのであります。小さい球からは葉の數枚と一本の花が出るのが普通でありますがあまり小さいものや、生育の悪かつた年の球には葉のみで花のない事があります。今年 は生育の状態が一般によいさうであります。

先づ一塊の球をとりまして切りますには第一に外側を覆ふてゐる茶褐色の枯れた鱗片を取り去り次に球を縦に凡そ半分位切り去るのであります。即ち球を縦に半分位に切斷するのでありますが私共素人が一刀のもとに眞半分に切斷してしまひましては鱗片にかくれてゐる葉や花にまで切りこんでしまふやうなことが有り勝ちですから先づ鱗片の外側の一枚丈を頂點から徐々に縦に切り、その何れかの半片丈を取り去り又同様にして同じ側の半片を取り去るやうに順次一枚づゝはぎ取りまして終に葉や花の潜在してゐる所に達しましたならばそれでよいのであります。此時切り目を入れずには切り出しを使ひその切つた一片をはぎとりますには竹べらを用ひるのであります。それで葉と花に達しましたら鱗片の間にかく閉きれて居る華を注意して傷つけないやうに竹べらで是に接した所の鱗片を少し押し擴げます。次に先に申し

ました、廢物利用の洋傘の骨の棒で押し擴げた葉の重なり合つてゐる一枚々々の下部の内側になる方を極わづかづゝそざとつておくのであります。

花軸は傷つけないでそのまゝにしておくのであります。これで球の切り方は終りましたが残る片側も球の大小によりまして縦に一條か二條の切り目を入れて水分の吸収を促進させます。このやうに致しまして「蟹作り」の操作は出來るのであります。そうして一塊の球は同様の方法を全部に施すのでありますがこの時には前の球にならひ必ず前と同じ側を切るのであります。もし大きな球の周りに小さい球が少なくて全體から見ても葉が出て蟹の如くみえないやうでありますならば別の適當の球をえらんで鹽梅よく竹ぐしでつけて形を整へて一塊とするのであります。

切つたりつけたりしたり致しまして、形が整ひましたならば、是を清水の中に切り口を下にして

一夜浸しておくのであります。翌朝になりますとその切口から澤山白い透명한粘液が出ておりますから、是を手なり筆なりで丁寧に拭ひとつて水を取替へて浸しておくのであります。かく致しまして始めの一週間は毎日水を取り替へ粘液が出れば常に取り去つてやるのであります。水に浸しておきますこと四五日で葉や蕾がおもむろに鱗片の間から先を伸ばして出て參ります。無論白い根も出ます。この時にはもう水盤の水もあまり多くしないで球が四五分程浸る位に致します。そして切口を上にし根の上には強い光線を當てないやうに新聞紙をのせ更に脱脂綿を潤はした物をのせてやるのであります。尚ほ球の下には小砂利を薄く敷いてやるのであります。約一週間たちました後は毎日水を替へなくてもよいのであります。かく面倒を見ますれば從つて花のもちもよい事は申すまでもありません。球を切つてから約二週間も致

しますれば葉や蕾の二三寸に伸びますことは前にも申しましたが、既にこの時から眺められるのでありますから、かくなりましたならば紙や綿は取り去つても差支へないのであります。培養致しまず室はなるべく日當りを好くし極力葉や花軸を徒長させないやうにすればよいのであります。

成品の良否及び操作上の注意

球を切りましてから一週間二週間とたちますうちに根も伸び葉や花軸も伸び出まして段々と所謂「蟹作り」の蟹の形をしてくるのであります。それがどんなになりましたのが出来ばえの優良なものかそれを簡単に列挙してみませう。是はとりもなほさず作り方の注意事項ともなりませうからその點も附記してみたいと思ひます。

一、全體形の整つてゐること

これは球を求めます時の選び方並びに切ります時つけたし方の適不適によりますから鹽梅よく取

り付けるやうに致します。

二、根の焼けてゐないこと

即ち白い根が褐色になつてゐないことであります。是は根が出ますと直ちに紙と脱脂綿とを覆ひまして強い光線を防げばよいのであります。

三、球も焼けてゐないこと

是は切斷面から出ます粘液を常に注意致しまして取り去りませんとこれが球の周りにかたまりつゝいて太陽に照らされまゝと褐色に變じて外觀をそこなうのであります。

四、葉が直立しないで蟹の足の様に彎曲してゐること。

これは葉の下部をそぎとります時に、極下部まで即ち鱗片の一部分もつけて切ることに依りまして成長するに従つて内側の一方は成長が邪魔されて充分に伸びることが出来ず切られない側のみが充分成長致しますので葉は彎曲する道理であります。

す。それも適度を得ませんと全く成長を妨げられまして是又成長不完全なものとして價値のないものになりますからこの操作は相當の熟練を要しますことでもあります。

五、花は充分に伸びて而も數の多いこと。

花は球が大變に切られて居りますので生育を妨げられます。その上にやゝもすれば不熟練のため葉を切る時過つて花軸をも切ることがありますからこの點に充分注意しなければなりません。この防止策と致しましては鱗片を切り終りました丈で一夜水に浸し、翌日になつて葉を切る様に致しますれば、鱗片と鱗片との間も葉と葉との間も葉と花軸との間にも間隙が出来まして餘程切り易くなります。花の數を多く致しますことはこれは球其のものに依つて定められた運命でありますから、切つてからはどうすることも出来ないであります。

因に目下新潟縣下に於きましてはチューリップの球根を以つて羊羹を造つて賞味致しておりますが若しこの水仙が右の様な利用方法がありますなら、捨てられる球の半分も瞑することでありませう。尙この栽培に使用しまして賞玩した後の半球も目下の處取り捨てられるより外ないものとされて居ります。

